

# あつたカンパニー構想

## 地域活性化に向けた これまでの取り組み

合併後、厚田区では地域の声を活かし、住民自らが地域活性化に向けた企画、提案を行い、地域協議会での審議を経て、協働の取り組みが進められてきた。

### 〔地域振興団体〕

- ・厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」 (H18.10～)
- ・あつたの森支援の会「やまどり」 (H20.03～)
- ・NPO 法人あつたライフサポートの会 (H20.03～)
- ・厚田資料室サポートの会 (H21.02～)
- ・地域教育分科会 (H22.02～)
- ・厚田アクアレーン実行委員会 (H22.12～)
- ・厚田こだわり隊 (H24.03～)
- ・地域賑わい呼びおこし隊 (H28.05～)



住民自治の推進

地域協議会

協働の取り組み

## 合併から12年が過ぎ

### 地域では

#### ◆高齢化が進んだ

- ◆身の回りのことができない？
- ◆一人での生活が不安？
- ◆運転免許証を返上せざるを得ない？
- ◆買物・病院に行く手段がない？

いつまでも愛着ある我が家に住み続けたいけど限界がある…好きな厚田から離れざるを得ない

これまで支えてきた人たちも高齢となり、今後が心配…

好きな厚田から離れざるを得ない

### 厚田支所

#### ◇組織のスリム化

- ◇職員の減少
- ◇退職、異動で顔見知り（地元出身）の職員が少なくなる
- ◇気軽に聞ける、話せる職員が少ない…？

最近は支所に行っても知らない顔ばかりで、行きづらくなった。。

困ったときに頼れる人が支所にいない。。

地域にいつでも相談できる(求め・頼れる)場所をいかに確保するか

不安要素

## 解決策

### 共 助

地域で互いに助け合うことはできないだろうか？

みんなが必要としていることは何だろうか？

### ニーズ調査

住民同士が共に支え合う街を実現



どうすれば、住み慣れた厚田で生涯暮らせるかしら？

### 仕組みづくり

厚田の賑わいづくりに私たち住民も係っていけないかなあ？

### やりがい・生きがい

必要とされる拠点づくり

カンパニー

## 将来像

### 近 説 遠 来 (厚田が目指す将来の姿)

区内の人が喜んで暮らしていると、おのずと区外から多くの人々が訪れ賑わう活気ある“まち”になる

#### 1. 安心して暮らせる地域 住んでみたい『魅力ある地域』

- ・除雪サポート
- ・デマンド交通
- ・小さな困りごと解決
- ・買物支援



<共に支え合う仕組みの確立>

#### 2. 自分の役割が生まれ 『健康』を導く

- ・生きがい、やりがい
- ・楽しみ、喜び
- ・充実感、達成感
- ・おもてなしの心



<できることを、できる人が>

#### 3. 『移住』『定住』の促進 厚田を支える『人材の確保』

- ・新しい視点、発想
- ・魅力の発掘、再認識
- ・地域に係る人が増える
- ・若い世代を呼び込む



<人が人を呼ぶ魅力の街>

#### 4. 地域に『賑わい』『活気』 が生まれる

- ・住民自治の確立
- ・協働の取組み
- ・来訪者の増加
- ・住んで良し、訪れて良し



<近説遠来の実現>

### ★カンパニー活動の流れ★

困りごと【発生】 ⇒ カンパニー【受付】 ⇒ サポーターへ【依頼】 ⇒ 依頼者宅へ ⇒ 困りごと【解決】